

取引先マスター

概要

取引先マスターを登録します。支払依頼にて使用する項目です。

設定を終えると...

- ・支払依頼時に対象の取引先を選択できる

設定手順(画面登録)

1. [マスター]タブ>取引先 をクリックします。



2. [新規登録]をクリックします。



3. 必要項目を入力して、[登録]をクリックすると完了です。

※「*」マークがついている項目は必須項目です。

各項目の詳細に関しては次ページでご説明します。

取引先マスター

基本情報

*コード	K00005	登録状況	<input checked="" type="checkbox"/> 確定
適格請求書発行事業者区分	<input checked="" type="checkbox"/>		
適格請求書発行事業者登録番号	T1234567890123	国税庁検索	
	サンプル株式会社		
*取引先名	<input type="text" value="サンプル株式会社"/>		
取引先名 (英語)	<input type="text"/>		

その他

予備1	<input type="text"/>	予備2	<input type="text"/>
更新者	<input type="text"/>	更新日時	<input type="text"/>

▼POINT

同じ取引先で口座が異なる場合は、取引先を分けて登録します。会計ソフトに共通の取引先コードを連携する場合は会計用コードに取引先コードを登録します。

【基本情報】設定詳細

基本情報

*コード	K00005	登録状況	<input checked="" type="checkbox"/> 確定
適格請求書発行事業者区分	<input checked="" type="checkbox"/>		
適格請求書発行事業者登録番号	T1234567890123	国税庁検索	
	サンプル株式会社		
*取引先名	<input type="text" value="サンプル株式会社"/>		
取引先名 (英語)	<input type="text"/>		
フリガナ	<input type="text"/> (半角)	*取引先区分	法人
拠点	<input type="text"/>		
部門名	<input type="text"/>	担当者名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>		
住所1	<input type="text" value="神奈川県相模原市中央区鹿沼台1丁目9番15号"/>		
住所2	<input type="text"/>		
TEL	<input type="text" value="0000000000"/>	FAX	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>	メールアドレスCC	<input type="text"/>
メモ	<input type="text"/>		

取引先マスター

項目名	桁/文字数	入力規則	補足
コード	10	文字	<p>任意の取引先コードを入力 入力規則が「文字」となっているものは 001、100などを別物として処理する</p> <p>※コードを自動採番か手入力か設定可能 [管理]タブ>[共通]>【取引先関連】の[取引先コード]にて選択してください。 [取引先マスター仮登録画面]・[取引先マスター]は同じ設定を推奨</p> 
登録状況	-	チェックボックス	<p>チェックが付いていないと該当の取引先を選択している支払依頼の支払確定処理を実行できません ※登録状況(仮登録)について詳細は後述します</p>
適格請求書発行事業者区分	-	チェックボックス	<p>取引先が適格請求書発行事業者であればチェックする</p>
適格請求書発行事業者登録番号	14	文字	<p>取引先の適格請求書発行事業者登録番号を入力</p> <p>入力後に[国税庁検索]をクリックすると、入力した適格請求書発行事業者登録番号について国税庁のデータベースに登録されている適格請求書発行事業者名が表示される</p> 

※補足が必要な項目のみ抜粋して記載

取引先マスター

項目名	桁/文字数	入力規則	補足
取引先名	40	文字	取引先名を入力
取引先区分	-	プルダウン	[法人][個人][その他]から取引先区分を選択
拠点	3	プルダウン	全拠点共通の取引先は空欄 取引先を使用する拠点を限定したい場合のみ選択 ※事前に区分マスター「拠点」の登録が必要
部門名 担当者名	60 20	文字	取引先の担当者名・部門名を入力 他の項目に影響しません
郵便番号 住所1 住所2	7 40 30	文字	取引先の住所を入力 ※帳票「支払通知書」の送付先情報として印字します
TEL ~ メモ	-	文字	取引先の情報を入力 他の項目に影響しません

※補足が必要な項目のみ抜粋して記載

【口座情報】設定詳細

口座情報			
銀行	<input type="text"/>	支店	<input type="text"/>
口座番号	普通 <input type="text"/>		
口座名義	<input type="text"/>	口座名義カナ	<input type="text"/> (半角)
振込手数料区分	<input checked="" type="radio"/> 当方負担 <input type="radio"/> 先方負担	振込手数料 負担先変更金額	<input type="text"/> 円以上
振込元	<input type="text"/>		

項目名	桁/文字数	入力規則	補足
銀行	-	-	虫めがねマークをクリックして銀行を選択 [支店]も同時に反映されます
振込手数料区分	-	ラジオボタン	[当方負担]もしくは[先方負担]を選択
振込手数料 負担先変更金額	9	数値	振込手数料区分をこの項目で指定した金額によって 自動変更
振込元	-	-	虫めがねマークをクリックして振込元銀行口座 IDを 選択 ※事前に振込元マスターの登録が必要 ※振込元口座がひとつだけの場合は空欄

※補足が必要な項目のみ抜粋して記載

▼POINT 振込手数料負担先変更金額の仕組み

例えば[振込手数料区分]を[当方負担]に設定している状態で、
[振込手数料負担先変更金額]に入力した金額が振込額合計(複数伝票の金額
合計)以上になった場合、[先方負担]に自動変更されます。
反対の動きも同様です。

通常は自社負担だが、金額が大きいときのみ取引先負担にしたい、
通常は取引先負担だが、金額が小さいときのみ自社負担にしたい、
場合に利用します。

【支払】設定詳細

支払

支払通知書 源泉税表示	<input type="checkbox"/>	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
支払方法	<input type="text"/>	*支払締日	月末 <input type="text"/>
支払月	<input type="text"/>	支払日	<input type="text"/>
*支払希望日設定	前営業日 <input type="text"/>	小数点端数処理	共通設定に依存 <input type="text"/>
未払科目	<input type="text"/>	未払補助科目	<input type="text"/>
会計用コード	<input type="text"/>		

項目名	桁/文字数	入力規則	補足
支払通知書 源泉税表示	-	チェック ボックス	源泉税を徴収する必要のある取引先は表示するように設定 ※帳票「支払通知書」の明細欄に源泉税額の表示がされます
表示	-	チェック ボックス	取引先検索でリストに表示させるかどうかを設定
支払方法	-	プルダウン	区分マスター「支払方法」に対応した 区分コードを選択 ※事前に 区分マスター「支払方法(支払依頼)」 の登録が必要
支払締日	-	プルダウン	自社の支払締日を設定 通常は自社の締日を入力します。取引先ごとに締日が変わる場合などに対応できます。 設定した支払締日、支払日によって伝票に反映される支払希望日を自動で判別します。 
支払月	-	プルダウン	取引先に合わせ支払月を選択 (例) 当月・2か月後など
支払日	-	プルダウン	取引先に合わせ支払日を選択
支払希望日 設定	-	プルダウン	支払希望日が金融機関の休日と同日になった場合、支払希望日を休日の前にするか後にするかを設定

(次のページに続く)

取引先マスター

項目名	桁/文字数	入力規則	補足
小数点端数処理	-	プルダウン	消費税額の端数処理方法を取引先毎に選択 [共通設定に依存]は[管理]タブ>共通>[金額関連]の[消費税計算方法]での設定を参照
未払科目	-	-	虫めがねマークをクリックして会計科目コードを選択 ※事前に会計科目マスターの登録が必要
未払補助科目	-	-	虫めがねマークをクリックして補助科目コードを選択 ※事前に補助科目マスターの登録が必要 会計ソフトで補助コードを使用している場合のみ入力
会計用コード	10	数値	必須項目の[コード]で入力規則に収まらない場合、使用 (通常は空欄) 会計ソフトとの連携で、別のコードが必要な場合に入力

※【請求・入金】の項目は請求書発行のオプション機能のみに使用されます。

仮登録の取引先について

取引先の仮登録とは、申請者側で取引先をいったん登録しておき、申請を進めることができる機能です。

しかし、仮登録の状態では支払確定処理までを行うことができないため、仮登録されている取引先を確定処理する必要があります。

仮登録の方法から取引先確定までの手順をご紹介します。

《仮登録の権限付与》

管理者は申請者に仮登録を行える権限を事前に付与しておきます。

[マスター]タブ>[ユーザー]>権限を与えたいユーザーを選択>項目「権限設定」の[権限設定]をクリックします。

[WEB権限]の[取引先仮登録]にチェックを入れ、[決定]をクリック>[登録]をクリックして、完了です。

※再ログインすると設定が反映されます。

権限設定

*ログイン権限	一般
参照部門1	<input type="text"/>
参照部門3	<input type="text"/>
参照部門5	<input type="text"/>
承認権限	<input type="checkbox"/> 全員の承認権限
権限設定	権限設定

権限設定

機能別権限 **WEB権限** マスター権限 ワークフロー分類権限 帳票権限 データ出力権限 請求書権限

権限名	チェック	説明	権限名	チェック	説明
定期券登録	<input type="checkbox"/>	定期券登録画面で各ユーザーの定期券情報の登録を行う	メッセージ登録	<input type="checkbox"/>	メッセージ登録画面でトップページに表示されるメッセージの登録を行う
印鑑登録	<input type="checkbox"/>	印鑑登録画面で承認の際に表示される印鑑画像の登録を行う	取引先仮登録	<input checked="" type="checkbox"/>	取引先マスター画面で取引先の仮登録を行う

《取引先の確定》

1. 管理者画面に移ります。ホーム画面に[取引先]が表示されています。クリックすると、仮登録された取引先が確認できます。

取引先マスター

登録状況: 仮登録 | コード: | 取引先名: | フリガナ: | 取引先区分: |

銀行名: | 支店名: | 銀行エラー: | 口座名義カナ: | 支払方法: |

その他の内容を表示

全 7 件

登録状況	コード	取引先名
仮登録	K00001	株式会社取引

2. 仮登録の取引先のコードをクリックすると、[登録状況]が仮登録になっているので、登録内容に問題がなければチェックをいれりと[確定]に変化します。最後に[登録]をクリックします。

以上で仮登録された取引先の確定が完了です。該当の取引先を選択した伝票は支払確定処理へ進めるようになります。

※支払確定処理の画面でも取引先確定は可能です。

取引先マスター

基本情報

*コード: K00001 | 登録状況: 仮登録

*取引先名: 株式会社取引

取引先マスター

基本情報

*コード: K00001 | 登録状況: 確定

*取引先名: 株式会社取引

よくある質問と解決方法

Q.取引先マスターの取引先区分(法人、個人、その他)を変更すると、どこに影響がありますか？

取引先マスター			
基本情報			
*コード	00001	登録状況	<input checked="" type="checkbox"/> 確定
*取引先名	グリセリン株式会社		
取引先名(英語)			
フリガナ	グリセリン株式会社 (半角)	*取引先区分	法人
拠点	松木運輸		法人 個人 その他

A.[管理]タブ>[支払依頼]>[振込先情報表示設定]を行うことで、取引先区分の設定に従い申請画面に表示される口座番号等を非表示にすることができます。

支払依頼	
依頼日	2023/07/17 19:35:52
依頼者	鯨井輝光
*取引先	グリセリン株式会社 (00001)
振込先	三菱UFJ 神田駅前 普通: *****

Q.取引先マスターの住所は必須でしょうか？
こちらを登録することで、どこに影響があるのでしょうか？

A.住所の登録は必須ではありません。
下記の帳票を利用する場合に登録が必要です。

- ①[帳票]タブ>[支払通知書]の取引先住所として利用します。
- ②[請求書発行]>[請求書]の取引先住所として利用します。

[\[その他のよくある質問\]](#) [\[取引先マスター\]](#)

※リンクは予めサポートサイトを開いた状態でクリックします。